



社会就労センター〔セルプ〕

石川セルプニュース



- (チャンス) 障害者に働く機会を!
- (チャレンジ) 挑戦する勇気を!
- (チェンジ) よりよい改善を!

NO. 7

発行  
石川県社会就労センター協議会  
編集 広報委員会  
発行責任者 表 修司  
〒920-0946  
金沢市本多町3丁目1番10号  
(石川県社会福祉協議会内)  
TEL(076)224-1212



施設紹介

社会福祉法人 幸 徳 園

加賀市動橋町りの1番地

幸徳園は、昭和57年に定員30名の知的障害者通所授産施設として開設されました。当時は、菓子箱折りやおしぼりたたみ等の簡単な下請け作業のみであり、社会就労を経験した人達が半数を占めていた本園では利用者からの仕事や工賃の不満も多くありました。また、知的の授産施設も少なく当時の社会状況からして地域の方の理解も浅い中で、職場実習や作業開拓に懸命に努力していました。

現在、定員40名になり、利用者は養護学校卒業者が8割を占め、平均年齢も30才と若い施設に変化しました。作業は以前の作業開拓が実を結んだ漆器の自主製品が全国から記念品等として受注があり、菓子箱折りは利用者が楽しくおしゃべりも交えてできる大切な作業種目になっています。

また、平成2年にはEM菌によるポカシ作業に取り組みました。これは、施設が地域の環境浄化の発信地となって理解を深めていただくこと地域への貢献が必要という認識の中で行われ、現在では定着した作業となっております。

援助面では、障害の重い人達も多く作業以上に充実していくことが必要になっています。朝、昼の散歩やクラブ活動、そして毎月の行事など利用者が心身のリフレッシュをして安定した施設生活が送れるような企画、実施に努めています。

今後いっそう厳しくなる社会福祉情勢ではありますが、白山を眺望する加賀平野に位置する豊かな環境の中で本園は“就労の場”として利用者がゆとりをもって笑顔で毎日を過ごせる施設でいたいと思います。

# ～ 翔点 ～ いきいき人間育てましょう

M君が、カナンの園を巣立ち、福祉ホームをわが家として社会自立の一步を印してから、はや8年が過ぎました。

これまで社会の諸々の荒波の中で、彼は転職や心の葛藤を幾度か経験しましたが、M君はくじけることなく、小さな家内工場に勤めて職場の方々から可愛がられており、また自らが汗した給料を蓄えたなかから、遠くに住む母親を毎年温泉に招待するという、心のあたたかな素晴らしい青年に成長しました。

M君の人間の成長ぶりは、わがカナンの園の園生みなさんの身近な目標であります。

カナンの園の授産種目である山中漆器の加工は、熟練した高度な技術を要します。

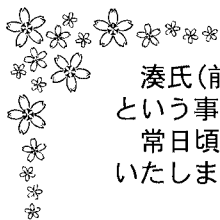
知的障害を克服しようとする園生たちが、漆器産地の一員として自立するために、産地の機構、工程別分業に基づく技術の構成について模索を重

カナンの園施設長 鹿野 明美  
ね、小規模な家族的工場におけるアシスタント的作業こそ「園生自立の余地」と考えました。

ここに着目して、私たちは園生たちがアシスタントとして生産の補助的作業を担い産地のなかに溶けこむには、職場の中に受け入れられる「人間性、人柄」を育成することが先決との視点に達しました。

私たちカナンの園の福祉憲章の一節「いきいき人間育てましょう。」を園生指導の愛ことばに、「明るく元気、素直さ、ひたむきさ」など園生たちが社会へ出て職場の方々に愛される人柄を育成することに園生、職員みなさんと心の手をつなぎ、努力しているところです。

これを作業技術向上との両輪と考え、産地業界の景況が好転の暁には、一人でも多くの皆さんを社会に送り出すことをひたすら願い、可能性を信じるこのごろでございます。



湊氏(前県セルフ協会会長)より…今年度の第一号をお届けしましたら『スペースがありましたら』という事で次の原稿が送られてきました。  
常日頃言われた言葉でしたが、信念をもっておられて、我々自身考えさせられるものであり掲載いたします。

松の実園施設長 達本美智子

## ● 主人公としての在り様を — 人間復権を — ●

湊 孝次郎

在職中は、時間の都合で欠席勝ちだったが、退職して5月に仲間の会に出席した。出席者は思ったより少なく、「あれっ」と思った。

世話役は、「近頃出席者が徐々に減り、活気がなくなった。お互い齢だからだろうか」ということで世話役は汗をかいているのだが、出席者は、会毎に減り続けているようである。笛吹けど踊らずという状態なのである。

これは、日取りの悪さではなく魅力の減退なのだ直感した。数人の世話役中心で会が運営され、他の者は聞き役であったり、計画に付き合わされているからで、たとえ見栄えはよくても魅力を失ない活力を失っていくのは必然の成り行きと言えよう。原因を一言で言うと『出席者(会員)一人ひとりが主人公となれる会の持ち方運営ではないからである』言葉で表現すれば、たったこれだけなのだが、さて、具体的な手立ては？簡単ではない。この原則は、障害の有無、性別、年齢差問わ

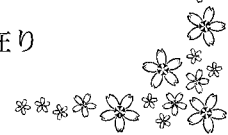
ず、人間の集団総てに当てはまる単純明快な原則である。

「〇〇の施設でこんなことをしていた。自分の施設でも」と形だけを取り入れてみても大抵失敗する。《一人ひとりを主人公にするためには、何をどうすればいいのか》という手立てや手順が無視され根っここのところを抜きにした形だけの模倣は似て非なるもので、うまくいくはずがない。

近年医療や福祉の在り様として、『自己決定の尊重』が声高に言われているが、『一人ひとり(当事者)こそ主人公』の別表現であろう。

外見的にはチャチで、ガチャガチャしている様だが、一人ひとりの動きに活気があり、目の輝きが見られるのは、主人公としての張りの現われだからである。

こうした、主人公としての在り様の積み重ねが、人間復権につながる言えよう。



## 『宝物をありがとう』

### 第1回セルフフェア

販売促進・能登地区 副部長  
直 龍芳

7月1日～4日の4日間、福井・石川合同セルフフェアがアル・プラザ鹿島（鹿島町）で開催されました。



「ぼくたちが心をこめてつくった品物をみなさん是非買って下さい！」会場全体に盛大な拍手が響きわたった施設利用者代表のあいさつは、とても心を打たれました。この「セルフフェア」の目的を利用者自身が地域の人に呼びかける姿を見て、私たちスタッフはより一層奮起し、新鮮な気持ちで取り組むことができました。また、会場のお客さまの様子から言葉で言い表わせない手ごたえも感じとることができました。

今回企画したオープニングセレモニー（テープカットと各関係機関来賓のあいさつ、地元天平太

鼓の力強い演奏、先着100名様への花のプレゼント）とイベントコーナー（風船で動物などを作るバルーンアートプレゼント）はこの合同フェアを盛り上げる要素の一つになったとスタッフ全員でよろこび合いました。

最後になりましたが、売り上げ金133万円と素敵な感動は、各施設利用者の皆さん1人ひとりの力と各関係機関、各施設の皆さんの温かいご支援とご協力で得ることのできた貴重な宝物です。

スタッフ一同厚くお礼申し上げます。

### 第2回セルフフェア開催！

松の実園 橋本 貴志

8月27日（金）～29日（日）の3日間、ジャスコ松任ショッピングセンターにて、第2回セルフフェアを開催しました。

第1回に引き続き、オープニングセレモニーにて幕を開け、松任市伝統の「浅野太鼓」の太鼓演奏にて異様な盛り上がりを見せ、また、初日にはお買い上げ先着100名様に、花苗の進呈。プレゼントは「ミスあさがお」の3名にお願いすることとなり、1つの笑顔により会場の雰囲気も和やかにさせてくれました。大変多忙な時期にあつて、フェアへのご協力を下さった方々に、厚く御礼申し上げます。

フェア期間中には「100円均一コーナー」を設けましたが、顧客の反応としましては、買い求めやすいといった印象を受け、人気を呼びました。最終日には、セルフあさがおによるポン菓子の実演販売。兼ねてからのジャスコ側の要望から、「顧客と交流するイベント、実演などがあれば好ましい」といった要望を受け、実現しました。あの大きな音に懐かしさも覚え、盛り上がりに一役買ってもらいました。

今回のフェアでは、販売員の時間帯の調整等、様々な新しい試みを行いました。売上にも影響したかという、多少疑問が残るものとなりました。今後とも皆様のご支援等により、フェアの開催につなげていきたいと思っております。

### ミスあさがおのコメント ～セルフフェアに参加して～

中 知子さん

☆福祉に興味もあり、このような公共での販売はとてもいいことですね。頑張ってください。

岡本 千春さん

☆これからはすばらしい作品を作って下さい。

石田 樹里さん

☆商品がシッカリデキテイテ、とてもびっくりさせられました。



### 平成11年度石川セルフ振興センター 出店フェア・ショップ一覧

名 称	期 間	会 場	売上金額
ゆう あい ビック	5/23	西部陸上競技場	828,252
老人施設ブロック大会	6/18	厚生年金会館	187,420
第1回セルフフェア (福井合同フェア)	7/1～4	アルプラザ鹿島	1,332,156
北陸地区知的障害施設 職員研究大会	7/8・9	国際ホテル	223,100
星が岡コンサート	7/25	星が岡牧場	60,610
鳳珠郡社会福祉大会	8/25	柳田村山村開発センター	29,150
第2回セルフフェア	8/27～29	ジャスコ松任店	639,761
合 計			3,300,449

## 構造不況の中での経営戦略

(スズキ株式会社取締役社長 鈴木修氏)

—全国社会就労センター研究大会講演より—

やまびこ学園園長 飯田 世三

世界の自動車業界を生き抜く鈴木社長の講話は気張らず、自信に充ち、何気ない言葉一語一語に説得力、ユーモアと痛快さに溢れ、講演の1時間は瞬時に過ぎた。以下に、聞きかじり、印象に残ったことを思いつくまま列記してみたい。

### 1. 商品も社会制度も、凡そ30年の寿命である。

スズキは創立以来80年間に、5つの商品が変わった。戦後のオートバイから、軽自動車まで30年経過した。教育界も制度疲労を起している。中三、高三の予備校化から、やっと中高一貫教育の実現に向かっている。福祉の世界もそうではないか。

企業は、世間のニーズを捉え、グローバルで、社会の変化に対応できる商品を製作している。

### 2. できない理由を聞いているのではない！

売り上げ年1兆円のスズキも、10兆円を超える大手に比べれば、象と兎みたいなもの。550万円の車と55万円の軽自動車1台運ぶのも、4つのタイヤのネジ締めも、人件費は同じ。スズキは一人10台運ばねば採算がとれない。それが「できない」と理屈をこねる前に、「できるのだと信念を持ちどうしたらよいか、チエを出せ」と言いたい。現在、スズキでは、一人で16台運んでいる。ハンディキャップがあるから、できないというのは、初めから負け戦なのである。

### 3. 売り上げで1位を取る。

戦後国内向けは95%だったが、1970年、輸出が90%になった。国内需要65万台、海外は100万台を超えた。国内自動車売り上げは、頑張っても6位。何処かで、何かをやればできるとの社員の意識改革のもとに、発展途上国へ進出。インド政府と合弁会社設立、37万台売る。パキスタン政府とも会社設立。遂にこの国での売り上げ1位を取った。海外26か国、190以上の会社と取り引きがあり、スズキはまさに世界を走るようになった。

### 4. 小さく、軽く、短く、少なく、美しく。

スズキの会社の方針は、この5つ。部品も機械もコンパクト。そして少数精鋭。無駄を省く。社長は、社長室で仕事はできない。現場で、現物を見て、現実的に対応して解決をする。社長は班長に。班長は班員に、手に手を取って仕事をしている。ハンガリーの国では、働かない。会社の品物を盗んだので解雇したら、母親が、これくらいのことで解雇とは何事だと、暴れに來た。これらのことも、社員教育によって、出勤率が90%まで上がった。教育力の凄さを改めて見直したという。

## 販売促進共同受注委員会より

セルプあさがお 夷藤 和明

新メンバーでスタートした販売促進共同受注委員会も、能登・金沢・加賀3地区の販促委員会を中心に活発な活動を展開しております。

すでに能登地区においては7月1日～4日に、アルプラザ鹿島にて『福井・石川合同セルプフェア』が盛大に行われ、大成功に終わりました。金沢地区でも先日8月27日～29日にジャスコ松任ショッピングセンターで『石川セルプフェア』が開催、新たな試みの100円均一コーナーやミスあさがおの参加、屋外店舗としてのポン菓子実演販売など、多くの話題をさらいました。加賀地区においても順次フェアが計画されています。

今年度、新たな試みとして、『ロングフェア』があります。セルプの一層の定着と将来的な常設店設置の実現に向けての長期にわたるフェアです。早速、能登地区では9月16日～26日にアルプラザ鹿島において企画第1号が実現いたしました。

各地区のスタッフの努力が徐々に実となり花となっていきます。それも皆様のご協力があればこそ成し得ることですので、今後共よろしくお願ひ申し上げます。

### 石川セルプ振興センター

### 平成11年度 賛助会員加入のお願い

石川セルプ振興センターは、平成9年4月石川県内の全ての知的障害者ならびに身体障害者、精神障害者の社会就労センター(授産施設)が共同で施設利用者の賃金の引き上げや、経済的自立を目指して設立しました。その目的を達成するために、フェア等の製品販売会や積極的な共同受注を展開するなど、数々の事業を実施しています。

石川セルプ振興センターの主旨にご理解とご支援をいただき、共に事業の推進を図って下さい個人・団体・企業等の賛助会員を10月より募集します。

なお、申し込みにつきましては、石川セルプ振興センター事務局へ詳細をお問い合わせ下さい。

○年会費(平成12年3月末日まで)

個人 一口 3,000円  
団体・企業 一口 10,000円

○石川セルプ振興センター事務局

金沢市本多町3-1-10  
TEL 076-224-1212

### お詫びと訂正のお願い

6号3頁事業推進体制図に誤りがありました。お詫びと共に下記に訂正いただきますようお願い申し上げます。

調査研究委員会 能田敏朗→(正)研修委員会  
研修委員会 北ゆかり→(正)調査研究委員会

## 金沢で行われた研修

7月8・9日 金沢国際ホテルにて

第15分科会 みのり園 橋本 忠剛

参加者22名、司会者浅田平七氏（やちぐさ作業所）、発表者2名で分科会が持たれた。

発表1は、「授産施設の現状と課題」と題して新潟県みどりの家の田巻清美氏。

発表2は、「ゼロからの出発、木工班の歩み」と題して、福井県ひまわり作業所の福田雅典氏。

大会全体のテーマは、「利用者にとって選択できる福祉とは」で、本分科会はその中で唯一、経済的自立をどう可能にするかを問題にした。

現状は、『選択』出来るような状況か？長びく不況の中で、下請けの確保が困難になって来ている。失業率増大、景気の低迷の中で、一般就労は増々困難になっている現状がある。

一方、ひまわり作業所のように、苦勞しながら独自の起業をし、収益、工賃を上げ立派にやっているとところもある。新製品開発や販路拡大は、消費者のニーズに答えなければならない。ポイントは、ヘルシー、自然、オリジナル、利便性さらには可愛らしさ等の魅力あるものに工夫すること。

働きは、生きがいであり喜びであり、価値ある行為で、人間に変わりはない。利用者の気持ちをアンケートしながら、職種、工賃配分その他の処

遇等あらゆる面から『施設を問い直し』福祉の新しい時代を創造していかなければならない等を討論した。

第16分科会 日本海倶楽部 矢巻 有美

この分科会では、人権擁護について、話し合いが行われた。そもそも、「人権」という捉え方が、あやふやなためか、施設内部には、「人権侵害」に当たるようなことがたくさんあるとの指摘があった。また、具体的には、最近よく問題として挙げられる、体罰、暴言問題について、どこまでが、彼らのためになるものであって、どこまでが、暴言となり、人権侵害に当たってしまうのか。そういった境界が何処にあるのか分からず、日々、頭を抱えて悩んでいるといった職員がとても多かった。考え出したら、全てが人権侵害になるように思え、何もできなくなってしまうという方もたくさんおられた。

私たち職員は、利用者と関わる限りは、「人権」ということを常に考えながら、彼らを援助していかなくてはならない。人生がどれだけ光り輝くものになるかは、周囲の恵まれた環境にある。そして、日々のゆとりこそが、人権を尊重し合える鍵となっているのではないであろうか、ということが分科会のまとめとして話された。

## 頑張ってます!! (利用者の声)

青山彩光苑ワークセンター田鶴浜 江澤 稔



私が、青山彩光苑ワークセンター田鶴浜を利用したきっかけは、青山彩光苑へデイサービスに行っていた時でした。当センターで仕事をしませんかと誘われましたが、私の障害は脳内出血による左上肢下肢全廃の左半身麻痺と車椅子利用なのでと言うと、職員の方が片手や車椅子でも出来る仕事があるので一緒に頑張らましようと言われ、平成9年6月開所と同時に利用しました。

当センターは、①水耕②土耕③委託④軽作業⑤セルフパンツ販売で、5種類の作業を行っています。私は水耕作業に就いています。水耕とは、主に葉ネギの水耕栽培で、ハウスが3あり、2棟がバリアフリーになっています。私は定植作業では独歩の人と同じくらいのスピードに出来るように頑張りました。収穫後、ねぎの枯れ葉や下葉を取る調整では、私はうまくありませんでした。

ある日同僚に調整量が少ない、汚いといわれた。それをきっかけに、片手でもみんなと同じくらいに頑張ればできることがないかと考えた。計量の仕事をやってみたかったのでさせてもらった。ねぎを計り、包装を試みたら思った以上にできました。現在は、計量包装を主に作業をしています。納品先は、スーパーや、食品加工会社、旅館、施設、病院等色々あります、出荷予定表を見て相方と2人で計量していると、追加注文が入ってきて予定以上の量を時間内に終了しなきゃならないので油断はできません。翌日の納品先などを確認しながら計量、包装出荷までの最終準備をしなければ

なりません。

帰りの送迎バスの中で、今日も1日頑張ったなあーと実感しています。また、当センターを利用していなかったら、家でごろごろしているのだけれど、こうして働けることを嬉しく思い家に帰ります。

日本海倶楽部 山本 典子

私は今、奥能登内浦町にある地ビールレストラン「Heart & Beer 日本海倶楽部」でフロアスタッフとして働いています。美しい海と緑に囲まれた高台に建つこのレストランには、毎日様々な方達が訪れます。近くに



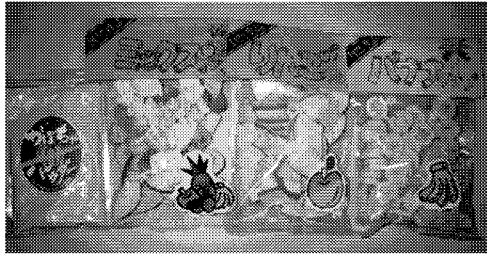
住むお年寄のグループ、休日を利用して遠くから来られたファミリー、仲の良い若者やアベック、みなさんととても楽しそうに御食事をしたり、お話をしています。私のフロアでの担当はサーバー係になります。サーバー係とは、カウンターの中でお客様が注文されたお飲物をつくったり、そのカウンターの中の整理をしたりといった作業になります。今は料理やビールをお客様のところまで運ぶ機会はあまり多くないのですが、それでも時折言われる「おいしいですね」「ありがとう」という言葉にすごく喜びを感じています。もっとそんな機会が増えて、お客様との会話が楽しくできたらいいなあと思っています。

夢は、自立して自分のお店を開くこと。夢に向けて、ここで働くみなさんと一緒に頑張っていきたいと思えます。

(筆 指導員 仕明哲也)

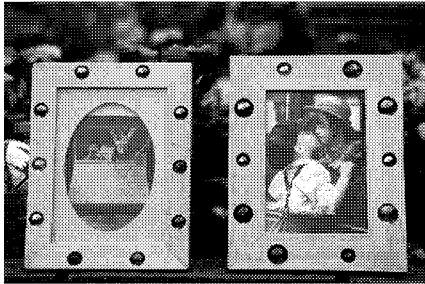
# ● 広告ページ ●

## 【フリーズドライ製品】



真空凍結乾燥機を使用し、原材料の栄養をそのままに乾燥させた健康食品です。  
 かぼちゃパウダー、ミックスチップ 350円  
 りんごチップ、バナナチップ 250円  
 ふれあい工房あぎし TEL (0768)43-1991

## どっぴり美しい! フォトスタンド



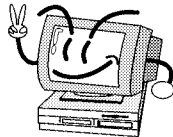
木とビー玉の美しさを生かした  
 フォトスタンドです。  
 窓際に置くとビー玉の美しさが一層引き立ちます。  
 南陽園 TEL (0761)74-6613

## 少部数歓迎。

### 短納期、低予算、超便利な...

デジタルプリントサービスをご利用下さい

当工場では1997年6月、お客様の要望にお応えし、最新鋭機(ドキュテック)を導入致しました。  
 これは、オフセット印刷(従来の印刷方式)の①少部数の印刷ではコストがかかりすぎる。②納品まで時間がかかりすぎる。等の問題点を解決しました。  
 ワープロ・パソコンで作成された完全原稿をお渡しいただければ、両面プリントでホチキスあるいはバインダー製本の形にして、低価格・短納期でご提供します。  
 是非、この機会に研究・研修発表冊子・施設発行物にご利用下さい。



電子入稿体制整備中! 主要ソフトでのFD・M0ディスクの入稿も実施中です。将来は、パソコン通信による入稿ができるように目指しています。

### 障害者雇用拡大を目指す!

社会福祉法人 石川サニーマイト



### 石川県身体障害者福祉工場

〒921-8836 石川県石川郡野々市町末松2-239  
TEL (076) 248-0294 FAX (076) 248-0966

印刷課

デジタルプリント部門(直通)

TEL (076) 246-2371 FAX (076) 246-2373 TEL (076) 248-0972 FAX (076) 248-0958  
E-mail:selp0294@aqu.aocn.ne.jp

## 石川県セルプ地図

● 珠洲郡内浦  
 日本海倶楽部 (地ビール)  
 ☎0768-72-8181

● 鹿島郡田鶴浜  
 青山彩光苑ワークセンター田鶴浜 (葉ねぎ)  
 ☎0767-68-3112

● 七尾  
 みのり園 (デカ山納豆)  
 ☎0767-53-7266

● 金沢  
 あけぼの作業所 (マドレーヌ)  
 ☎076-263-7101  
 聖ヨゼフ苑作業所 (パン)  
 ☎076-240-6221  
 ひろびろ作業所 (ウエス)  
 ☎076-260-0806  
 やちくさ作業所 (焼菓子、堅パン)  
 ☎076-251-5139  
 若草福祉作業所 (藍染め)  
 ☎076-244-7731

● 野々市  
 けやき野苑 (ハーブ製品)  
 ☎076-248-4871  
 身体障害者福祉工場 (印刷)  
 ☎076-248-0294  
 セルプはくさん (紙器)  
 ☎076-248-3204

● 小松  
 うめの木学園 (舞茸)  
 ☎0761-41-1301  
 小松市立九谷の里 (九谷焼)  
 ☎0761-47-4111

● 鳳至郡門前  
 ふれあい工房あぎし (りんごチップ)  
 ☎0768-43-1991

● 羽咋郡押水  
 今浜苑 (しいたけの佃煮)  
 ☎0767-28-2900  
 キッチンクラブおしみず (パン)  
 ☎0767-28-8100

● 河北郡津幡・内灘  
 やまびこ学園 (竹炭)  
 ☎076-289-2277  
 うちなだ福祉作業所 (クッキー)  
 ☎076-286-6386

● 松任  
 松の実園 (おからクッキー)  
 ☎076-276-6452  
 セルプあさがお (パン)  
 ☎076-274-9177

● 加賀  
 南陽園 (クリーニング)  
 ☎0761-74-6613  
 カナンの園 (山中漆器)  
 ☎0761-77-1500  
 幸徳園 (山中漆器)  
 ☎0761-74-1609  
 はるかぜワーク (クリーニング)  
 ☎0761-72-4545

## 編集後記

今号より、最終ページに各施設の商品広告を掲載する事になりました。基本的に1スペース(縦7cm×横8cm)の、有料広告です。掲載するにあたり、前もってアンケートにお答え頂いた各施設の皆様、本当にありがとうございました。また、短時間で広告の原稿を用意して頂いた左記の3施設の担当の方々、本当に助かりました。この商品広告の掲載によって、広く一般の方にも更にセルプを理解して頂ければと思っております。

今号より各施設へ、一般の方への「翔」が配布されます。これは、と思う所へ配布して下さい。大変お手数をお掛けしますが、よろしく願い致します。商品広告に関するお問い合わせは、下記連絡先までお気軽にどうぞ。

(向橋)

### <連絡先>

県社協 村田 076-224-1212  
 うめの木 向橋 0761-41-1301